

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 共立印刷

上場取引所 東

コード番号 7838 URL <http://www.kyoritsu-printing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野田 勝憲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括

(氏名) 木村 純

TEL 03-5248-7800

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,832	—	406	—	371	—	196	—
20年3月期第1四半期	8,374	△4.3	437	△36.2	378	△37.9	211	△39.3

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	4.71	—	—	—
20年3月期第1四半期	5.54	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第1四半期	29,275		10,145		34.7	243.71		
20年3月期	30,150		10,229		33.9	245.73		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,145百万円 20年3月期 10,229百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,000	4.3	1,000	3.7	870	5.2	400	△17.8	9.61
通期	38,000	4.5	2,200	5.5	1,940	6.1	1,080	5.0	25.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 41,630,000株 20年3月期 41,630,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 41,630,000株 20年3月期第1四半期 38,180,000株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 平成20年5月9日発表の通期連結業績予想を修正していません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的なエネルギー資源や穀物類の価格高騰が続く中、米国景気の低迷や円高による影響を受け企業収益のけん引役であった輸出に陰りが出てきており、先行き不透明な状況で推移しております。また、印刷業界におきましては、主材料である用紙の値上や価格競争による単価下落などと伴に、企業の広告費抑制といった厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、新規得意先の獲得活動や通販雑誌における頁数増加により売上高が増加いたしましたものの、材料費の増加等による原価高により収益面におきましては前年同期間と比較して僅かながら減少いたしました。

第2四半期におきましては、他社との差別化を図るため工場を機能別に再編すると伴に、老朽化した設備を更新し生産性の向上を図り、収益の改善に努めてまいります。

(売上高)

当第1四半期の売上高は前年同期間比4億5千8百万円(5.5%)増加し、88億3千2百万円となりました。

商業印刷につきましては、流通関係チラシにおける部数減少やサイズダウンがあったものの、通販雑誌の新規受注や頁数増加に伴い前年同期間比5億3千9百万円(9.4%)増加し、62億9千9百万円となりました。

出版印刷につきましては、出版業界の市況冷え込みによる影響を受ける中、旅行雑誌やフリーペーパーの部数減少などにより前年同期間比9千2百万円(3.6%)減少し、24億9千9百万円となりました。

(営業利益)

上記の増収効果はありましたものの、用紙等の原材料費や設備増強による減価償却費が増加したことにより前年同期間比3千万円(7.1%)減益の4億6百万円となりました。

(経常利益)

前年に比べ借入金返済により支払利息の減少などはありましたものの、前年同期間比6百万円(1.8%)減益の3億7千1百万円となりました。

(四半期純利益)

前年同期間比1千5百万円(7.3%)減益の1億9千6百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、130億3千4百万円となりました。これは、現金及び預金が2億8千2百万円、受取手形及び売掛金が7億4千6百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、162億4千1百万円となりました。これは、建物及び構築物、機械装置及び運搬具が減価償却費によりそれぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、292億7千5百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、138億8千6百万円となりました。これは、短期借入金が6億6千万円増加し、支払手形及び買掛金が4億3千万円、未払法人税等が2億8千7百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.0%減少し、52億4千3百万円となりました。これは、長期借入金が4億1千6百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、191億3千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、101億4千5百万円となりました。これは、主として配当金の支払いなどにより利益剰余金が9千5百万円減少したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しにつきましては、平成20年5月9日に公表のとおり売上高380億円、営業利益22億円、経常利益19億4千万円、当期純利益10億8千万円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

2. 実地棚卸の省略

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

3. 退職給付引当金

期首に算定した年間の退職給付費用及び数理計算上の差異については、期間按分した額を四半期会計期間に計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 当第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,273,037	5,555,813
受取手形及び売掛金	5,967,174	6,713,425
製品	154,699	168,123
仕掛品	316,491	266,482
原材料及び貯蔵品	527,467	303,603
その他	798,211	752,326
貸倒引当金	△2,791	△3,007
流動資産合計	13,034,290	13,756,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,161,204	10,136,732
減価償却累計額	△4,036,030	△3,950,753
建物及び構築物(純額)	6,125,174	6,185,978
機械装置及び運搬具	13,935,511	13,910,754
減価償却累計額	△11,061,783	△10,900,107
機械装置及び運搬具(純額)	2,873,727	3,010,646
土地	5,168,744	5,168,744
その他	138,117	103,190
有形固定資産合計	14,305,764	14,468,561
無形固定資産		
無形固定資産合計	73,323	77,992
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	1,862,168	1,846,749
固定資産合計	16,241,256	16,393,303
資産合計	29,275,546	30,150,071
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,552,939	8,983,237
短期借入金	810,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,636,974	2,736,940
1年内償還予定の社債	330,000	370,000
未払法人税等	163,562	450,627
賞与引当金	108,067	201,651
その他	1,284,880	1,329,239
流動負債合計	13,886,423	14,221,696
固定負債		
長期借入金	4,511,250	4,928,000
退職給付引当金	516,047	507,831
その他	216,166	262,604
固定負債合計	5,243,464	5,698,436
負債合計	19,129,887	19,920,132

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,511,350	2,511,350
資本剰余金	2,505,480	2,505,480
利益剰余金	5,034,992	5,130,329
株主資本合計	10,051,822	10,147,159
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,836	82,779
評価・換算差額等合計	93,836	82,779
純資産合計	10,145,658	10,229,939
負債純資産合計	29,275,546	30,150,071

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

売上高	8,832,910
売上原価	7,706,075
売上総利益	1,126,834
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	156,780
賞与引当金繰入額	35,921
退職給付費用	2,503
運賃	198,330
その他	326,989
販売費及び一般管理費合計	720,525
営業利益	406,309
営業外収益	
受取利息	421
受取配当金	9,295
産業立地交付金	11,233
その他	2,593
営業外収益合計	23,542
営業外費用	
支払利息	48,396
その他	9,782
営業外費用合計	58,178
経常利益	371,673
特別利益	
貸倒引当金戻入額	215
特別利益合計	215
特別損失	
固定資産除却損	1,536
投資有価証券評価損	16,022
その他	950
特別損失合計	18,509
税金等調整前四半期純利益	353,379
法人税、住民税及び事業税	157,306
法人税等合計	157,306
四半期純利益	196,072

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	353,379
減価償却費	282,470
売上債権の増減額 (△は増加)	699,854
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△260,449
仕入債務の増減額 (△は減少)	△430,298
その他	217,312
小計	862,269
法人税等の支払額	△434,789
その他の支出	△33,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△432,309
無形固定資産の取得による支出	△4,913
投資有価証券の取得による支出	△23,902
貸付金の回収による収入	103
保険積立金の解約による収入	△8
その他	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	660,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△616,716
配当金の支払額	△245,818
長期設備支払手形の支払いによる支出	△21,931
長期設備未払金の支払いによる支出	△50,998
社債の償還による支出	△40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△215,464
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△282,776
現金及び現金同等物の期首残高	5,555,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,273,037

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

印刷事業の売上高、営業利益及び資産の金額が、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が存在しないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

[参考資料]

前第1四半期に係る財務諸表等
(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
I 売上高	8,374,306
II 売上原価	7,124,997
売上総利益	1,249,309
III 販売費及び一般管理費	812,041
営業利益	437,268
IV 営業外収益	15,025
V 営業外費用	73,882
経常利益	378,411
VI 特別利益	584
VII 特別損失	885
税金等調整前四半期純利益	378,110
法人税等	166,586
四半期純利益	211,524